



御園だより

令和7年度7月号
大田区立御園中学校
校長 古川 大輔



安全・安心を大切にする文化、上級生を手本とする伝統

本校の教育活動に、日頃より深いご理解と温かいご協力を賜り、心より御礼申し上げます。生徒たちの活躍が校内外に広がり、学校は活気に満ちています。さて、朝礼などにおいて子どもたちにお話しした内容の一部を保護者の皆様にお伝えいたします。

自学

自学についてです。私たちは毎日、いろんなことを経験しながら、生活しています。思い通りにいくこともあれば、どうしてもうまくいかないこともあります。そんなとき、大切になるのが「心の持ち方」です。まず、意識してほしいのは、「自分でコントロールできること」と「できないこと」を分けて考えることです。例えば、自分の行動や言葉、気持ちの向け方、時間の使い方はコントロールできます。でも、天気やものごとの結果、他者からの評価などは、自分の思い通りにはなりません。だからこそ、みなさんは「どうにもならないこと」に心をとらわれすぎず、「今、自分にできること」に目を向けてみるのが大切です。まずは、「今、自分にできること」に集中しましょう。さて、ポモドーロ・テクニックと呼ばれる時間の使い方をご紹介します。「25分学習して5分休む」を1セットとして何セットか繰り返します。25分間は他のことをしない。集中する。5分間は必ず休むことがポイントです。1セットから始め、慣れてきたら4セットなどが目安です。「何をやるか」をあらかじめ具体的に決めておくと、効率よく学習を進めることができます。ところで、自学(受験勉強などの自律的な学習)や自習(試験勉強などの自主的な学習)の仕方というのは人それぞれです。集中できる時間も、気持ちの切り替え方も、みんな違います。大切なのは自分が集中できるリズムを見つけること。そして、自ら学習を調整しながら、粘り強く学習に取り組むことです。みなさんのことを、いつも心から応援しています。

協働的な学び

協働して学ぶことについてです。「学ぶ」という言葉の語源は、古語の「まねぶ」に由来すると考えられています。「まねぶ」は「真似る(まねる)」という意味で、模倣から学びが始まるという考え方に基づいています。学習は決して一人だけで完結するものではありません。協働して学ぶことをとおして、個人の学習の質を高め、同時に集団の学習の質も高めていくことを目指します。「自分の居場所」という安心、「仲間と共にある」という信頼、「自分で選ぶ」という責任、「安全・安心」を大切にする文化、そして「上級生を手本とする」という伝統、こうした私たちが大切にしている学校風土は、全てみなさんの日々の学びと結びついています。仲間とともに課題に向き合い、意見を交わし、共に考える中で、見方・考え方を働かせ、自分では気付かなかった視点や新しい考え方に出会うことがあります。そうした経験は、学びの質を高め、みなさん自身をより大きく「成長」させるものです。その上で、学びを自分のものにするのは、他の誰でもない、みなさん自身の意思と行動です。

人権教育

人権尊重についてです。人が嫌がっているのに体を触ったり、服で隠れている部分をのぞこうとしたり、性的な言葉を言ったり、LINEやメールで性的な言葉を送ったりする等、「性的な言葉や行動で人を傷つけること」を性暴力と言います。二次創作、肖像権侵害、なりすましなどのSNS等による性的ないじめを含む、性暴力は、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。もし、性的ないじめや性暴力の被害に遭いそうになったら、または、被害に遭ってしまったら、すぐにSOSを出して助けを求める行動(援助希求行動)をとること。家族や先生、養護教諭、スクールカウンセラー等の身近にいる信頼できる大人に相談してください。相談シートのデータをまなびポケットで配ります。学校の先生や大人にも話しにくい場合は、相談窓口に連絡すると、信頼できる専門家の方がお話を聞いてくれます。ご家族同様に私たちは生徒のみなさんの心と体を大切に守りたいと思っています。困ったことがあったら、一人で悩まないで身近にいる信頼できる大人に相談してください。

保護者の皆様、お子様に心配な変化や気になる様子がございましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

本校ホームページ「Misono Diary」に生徒の活躍、活動の様子を掲載しております。右上のQRコードよりご覧いただけます。また、X公式アカウント「御園中 日々の出来事」を随時更新しております。